

2022 年 3 月 18 日

通貨ニュース

新興国:2022 年 2 月のファンドフロー

2022 年 2 月の新興国ファンドへの資金フローは+77.6 億ドルと 8 か月連続で資金流入となった。資金流入額は前月 (+271.0 億ドル) から縮小した。株式ファンドは+189.9 億ドルと 8 か月連続の流入も流入額は縮小。債券ファンドも▲112.3 億ドルとコロナショック直後の 2020 年 3 月以来の流出額となった。

地域別ファンドへの資金フローでは、アジア(日本除く)が 8 か月連続の資金流入も流入額は縮小。株式への流入額が縮小し、債券も流出に転じた。ラテンアメリカは 12 か月ぶりの資金流入。債券が流出に転じたものの、4 か月ぶりに流入に転じた株式が補った。東欧・中東・アフリカは資金流出に転じた。株式への流入額は拡大も、債券が 3 か月ぶりの流出に転じたことが響いた。

国別ファンドへの資金フローでは、台湾への資金流入が拡大。株式への流入額が拡大した。また、ブラジルは 4 か月ぶりの資金流入に転じた。株式からの流出額が大きく縮小、債券の流入額は拡大した。メキシコも 6 か月ぶりの資金流入。債券は 4 か月連続の流出も、6 か月ぶりの流入に転じた株式が補った。一方、インドは資金流出に転じた。株式への流入額は拡大も、債券が 2020 年 3 月以来の大幅な流出に転じた。また、南アフリカは 8 か月ぶりの資金流出。株式からの流出額が縮小するも、債券が 8 か月ぶりの流出に転じた。

なお、3 月 16 日までのデータを基に 3 月に入ってから資金フローを試算したところ、新興国ファンドは 9 か月ぶりの資金流出となっている。株式が流出、債券は流入という構図だ。債券がいずれの地域も流入超という点では、ウクライナ危機の影響が見出せそう。実際、ロシアファンドは 3 か月ぶりの資金流出に転じている。中国債ファンドが流出超に転じている点も興味深い。

マーケット・エコノミスト

堀内 隆文

03-3242-7065

takafumi.horiuchi@mizuho-bk.co.jp

大島 由喜

03-3242-7065

yuki.ooshima@mizuho-bk.co.jp

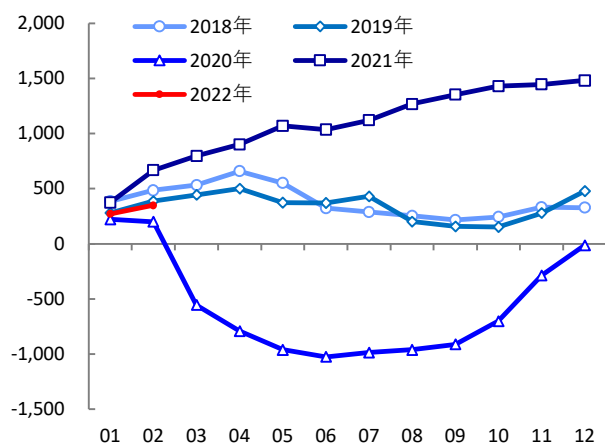
図表 1: 新興国各国・地域のファンドフロー(月次)

	2月 (%)	Zスコア (過去5年)		2月 (%)	Zスコア (過去5年)
新興国	0.25	0.0	インドネシア	-3.71	-1.1
アジア(日本除く)	0.18	-0.2	インド	-0.72	-0.9
中国	0.87	-0.1	東欧・中東・アフリカ	-0.31	0.1
韓国	0.15	-0.1	ロシア	1.74	1.0
台湾	4.88	0.6	トルコ	-0.39	0.0
シンガポール	-0.85	-0.7	南アフリカ	-0.73	-1.6
フィリピン	8.30	1.9	ラテンアメリカ	0.68	0.6
タイ	-0.36	-0.1	メキシコ	1.87	0.4
マレーシア	-3.17	-0.7	ブラジル	0.34	0.1

注: スコアは株式ファンドと債券ファンドへの資金流入額の前月比変化率で算出。

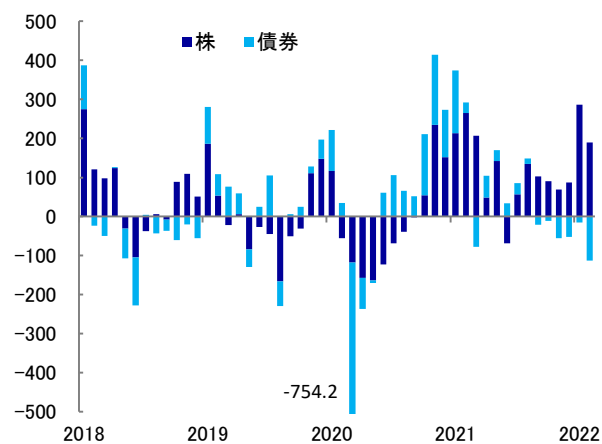
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 2:新興国(年初来累計額、億ドル)



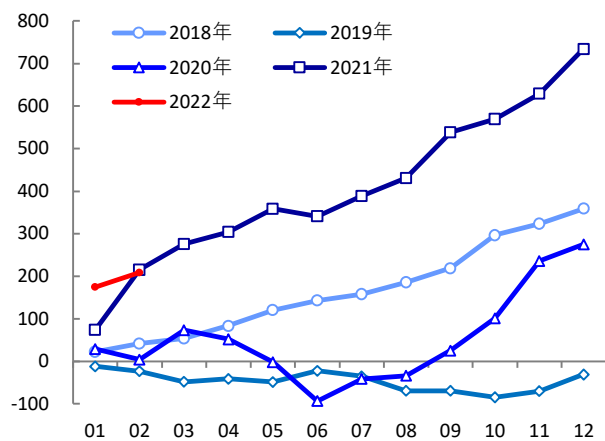
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 3:新興国(月次、億ドル)



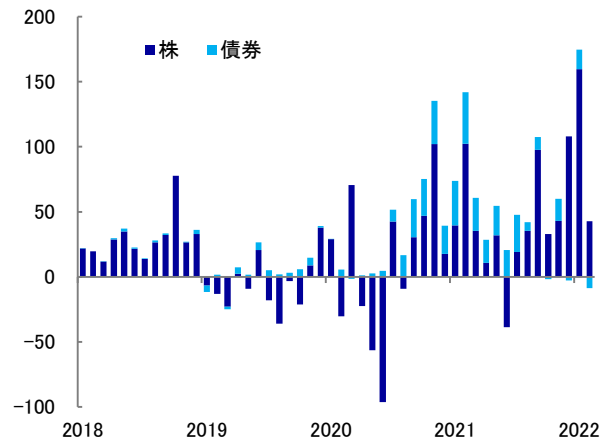
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 4:中国(年初来累計額、億ドル)



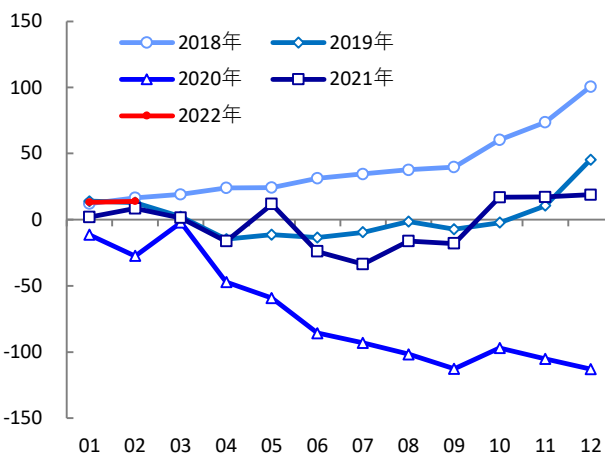
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 5:中国(月次、億ドル)



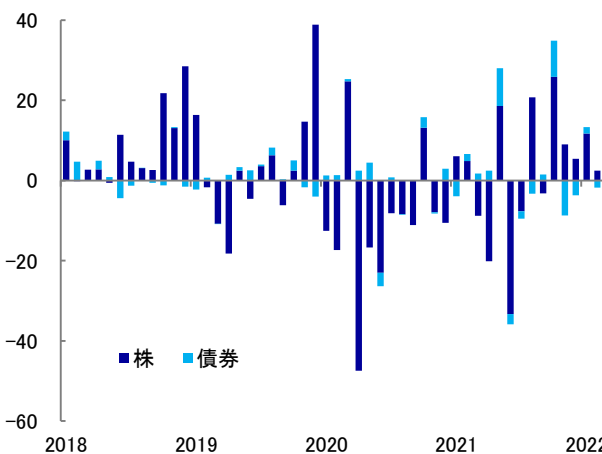
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 6:韓国(年初来累計額、億ドル)



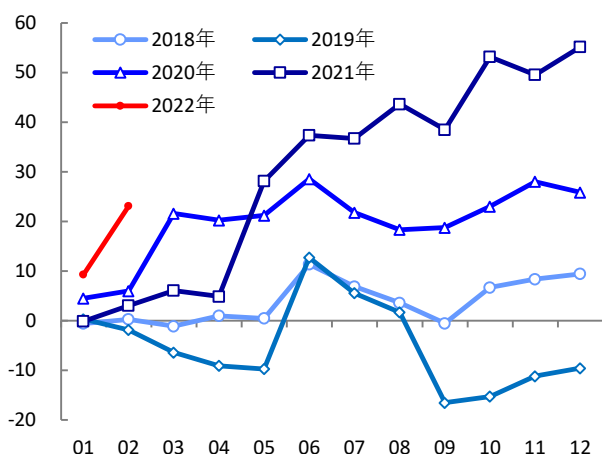
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 7:韓国(月次、億ドル)



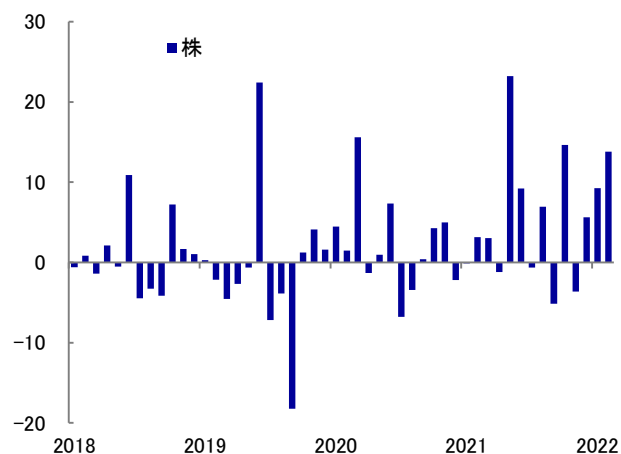
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 8: 台湾(年初来累計額、億ドル)



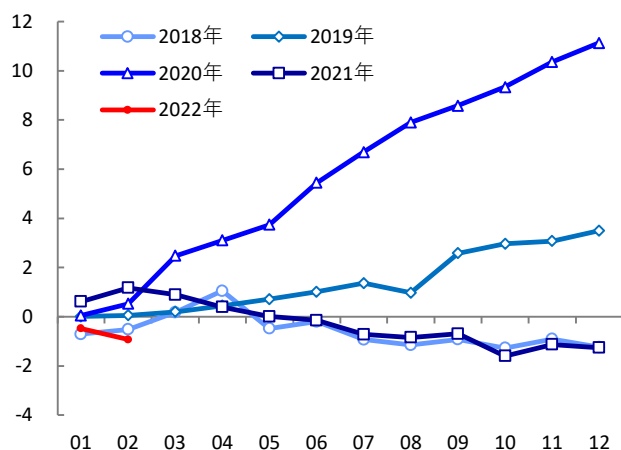
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 9: 台湾(月次、億ドル)



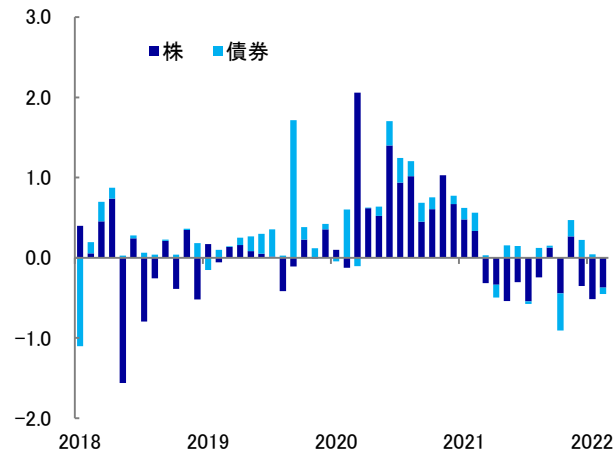
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 10: シンガポール(年初来累計額、億ドル)



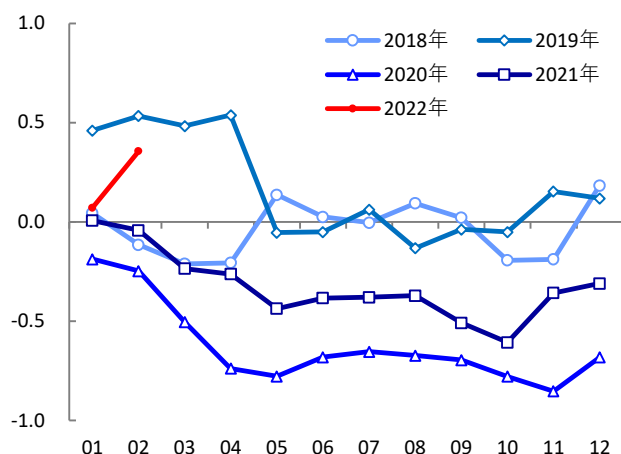
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 11: シンガポール(月次、億ドル)



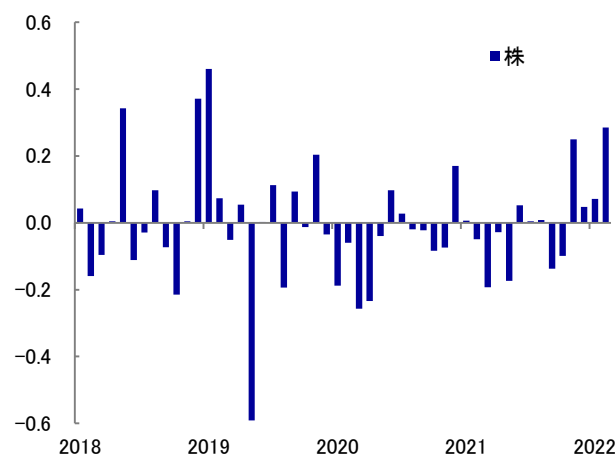
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 12: フィリピン(年初来累計額、億ドル)



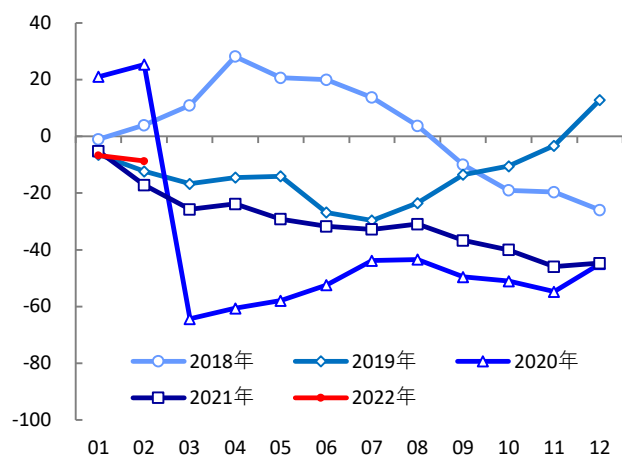
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 13: フィリピン(月次、億ドル)



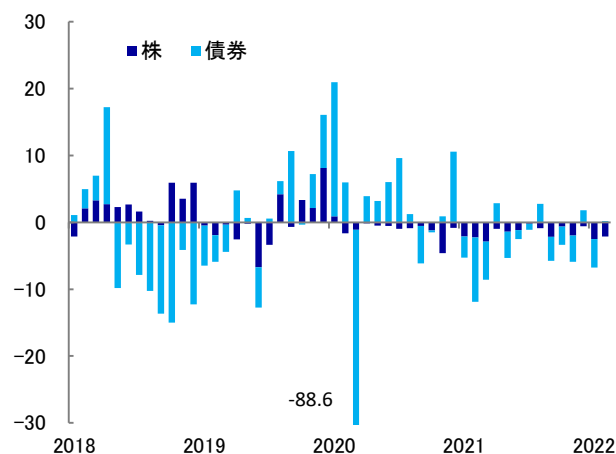
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 14: タイ(年初来累計額、億ドル)



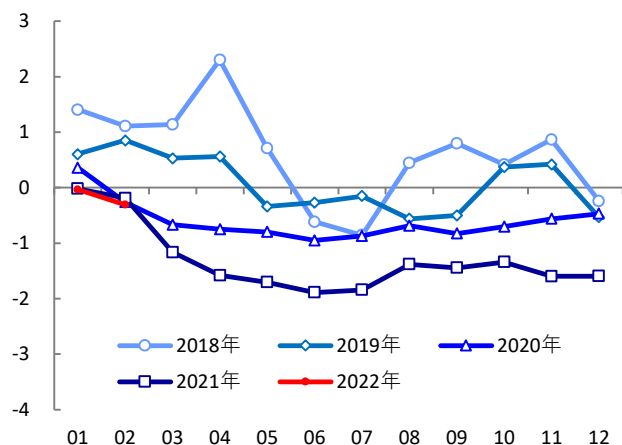
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 15: タイ(月次、億ドル)



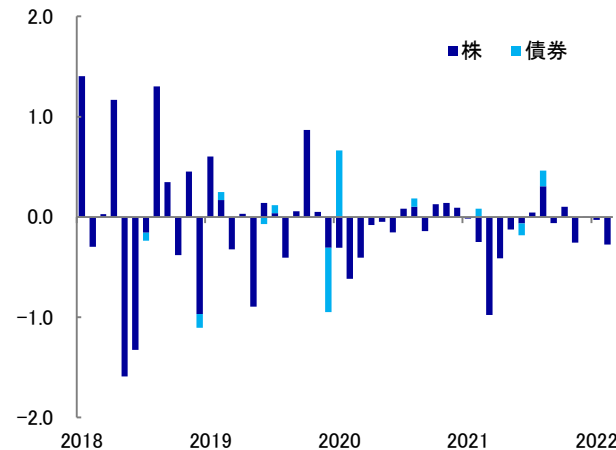
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 16: マレーシア(年初来累計額、億ドル)



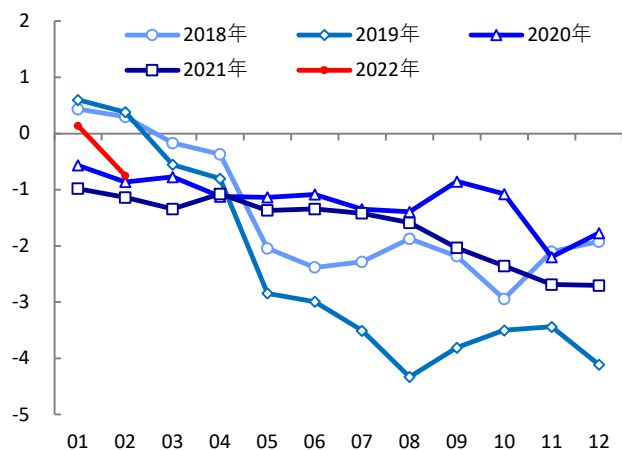
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 17: マレーシア(月次、億ドル)



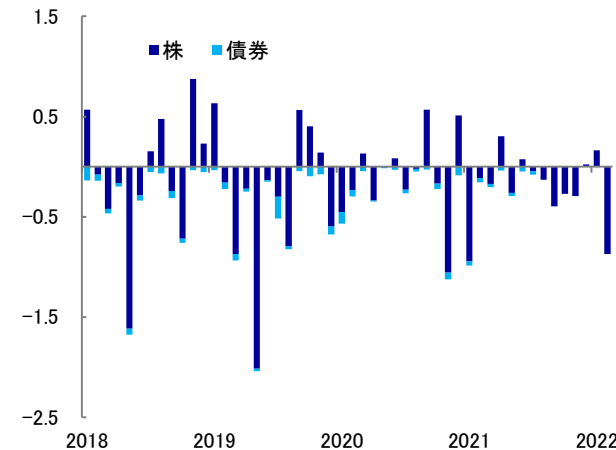
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 18: インドネシア(年初来累計額、億ドル)



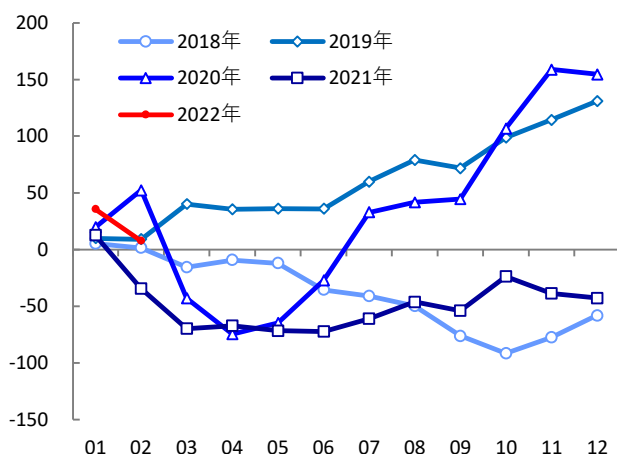
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 19: インドネシア(月次、億ドル)



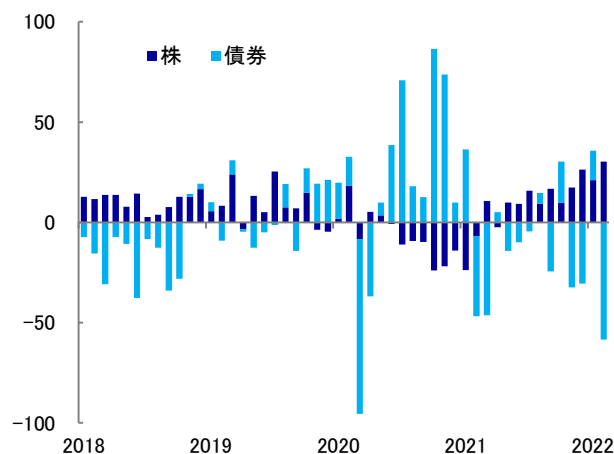
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 20: インド(年初来累計額、億ドル)



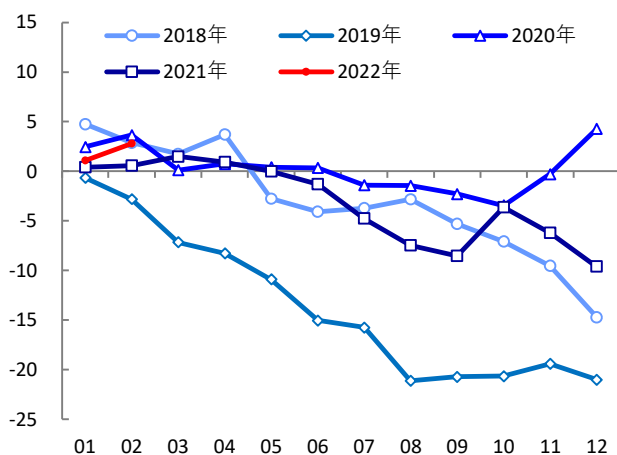
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 21: インド(月次、億ドル)



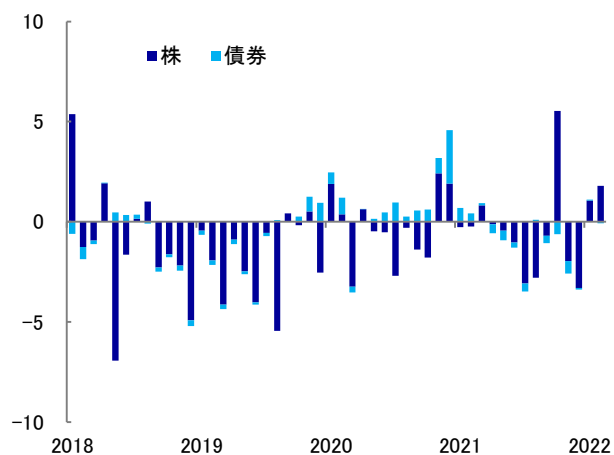
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 22: ロシア(年初来累計額、億ドル)



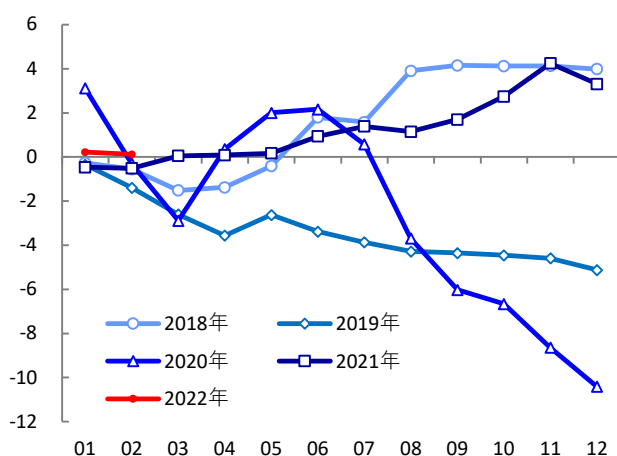
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 23: ロシア(月次、億ドル)



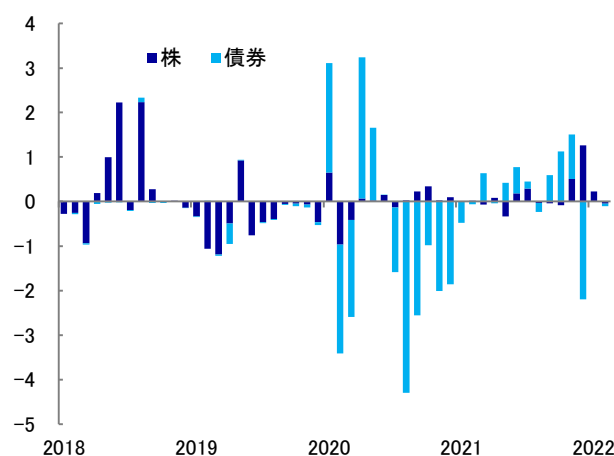
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 24: トルコ(年初来累計額、億ドル)



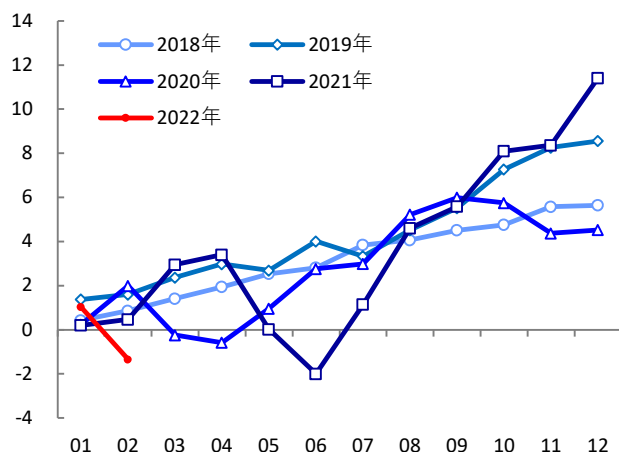
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 25: トルコ(月次、億ドル)



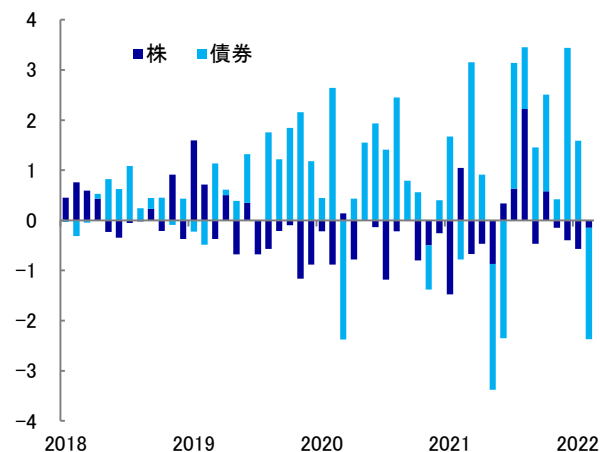
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 26: 南アフリカ(年初来累計額、億ドル)



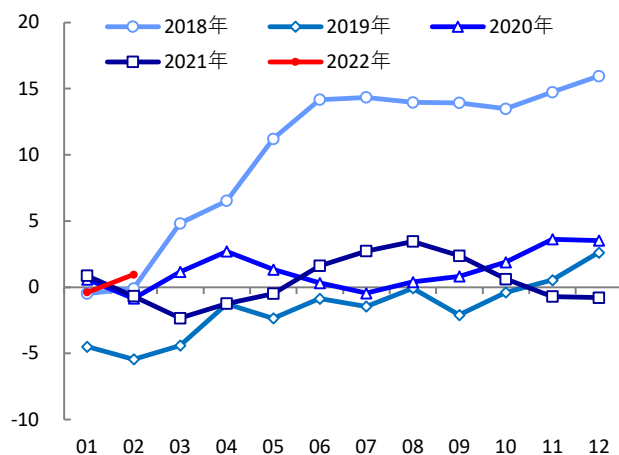
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 27: 南アフリカ(月次、億ドル)



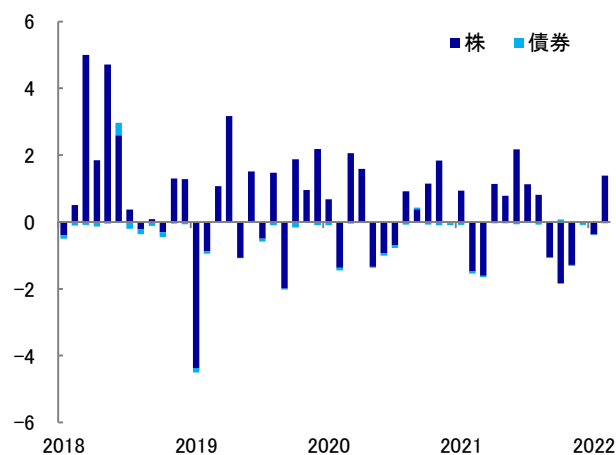
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 28: メキシコ(年初来累計額、億ドル)



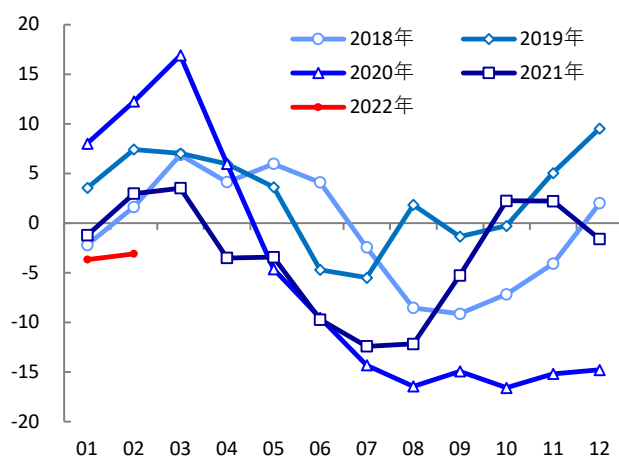
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 29: メキシコ(月次、億ドル)



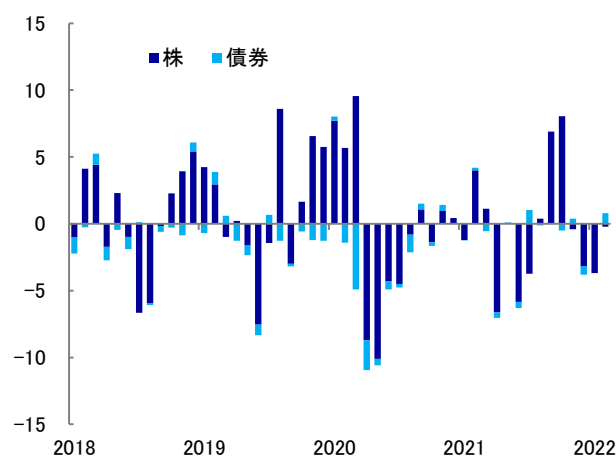
出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 30: ブラジル(年初来累計額、億ドル)



出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 31: ブラジル(月次、億ドル)



出所: EPFR、Macrobond、みずほ銀行

図表 32: 新興国各国・地域別ファンドフローのヒートマップ

[illegible]

注:過去5年のデータを基に算出したZスコアを用いて作成。赤は資金流出、緑は資金流入を表す。色が濃いほど平均値からの乖離が大きい。

出所:EPFR、Macrobond、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。